

スマート農業・農業DXでやりたいこと

「働く仲間が楽しくやりがいのある職場づくり」

株式会社 FarmersVillaUme
代表取締役 梅沢健太

自己紹介



- 氏名 梅沢健太
- 年齢 42歳
- 家族構成 妻+子供3人
- 出身 群馬県館林市
- 現在地 鹿児島県志布志市

経営概況



- 就農
- 設立
- 作物
- 面積
- 雇用

2012年7月

2024年8月

施設ピーマン

93a(冬春78+夏秋15a)

正社員2名、パート4名

独立希望研修生2名

スマート農業って何？

- ロボットやAI、IoT(モノのインターネット)などの先端技術を活用して、農業の作業効率化や品質向上を目指す取り組み

農業DXって何？

- 農業の生産性や効率性を向上させることを目的として、ロボットやAI、IoTなどのデジタル技術を導入する取り組み

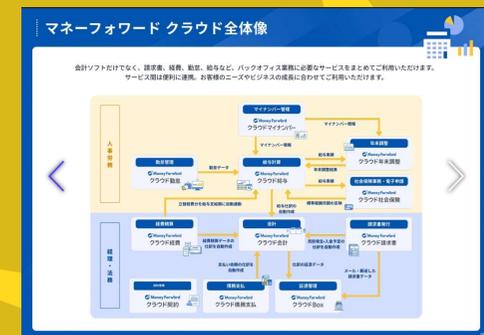
スマート農業技術の導入効果

- 勘や経験と実際のデータの比較が容易
- 労働時間の短縮
- 社内・仲間との情報交換が容易
- データ集計・分析がしやすい
- 収穫量の増加
- ハウス管理の遠隔操作

わが社のピーマン栽培のスマート農業化に関しては特に画期的な機器の導入ではなく、当たり前にはやらないといけないことが、当たり前になるようになっただけ

わが社の農業DX

- 労務管理はMFクラウドで一元管理（勤怠、給与、契約、請求書等）
- 日々の管理データはクラウド保存
- 従業員の健康管理シート
- 休みの連絡をLINE（社内LINEスタンプ作成）
- スケジュール管理アプリ
- 掃除管理アプリ



農業DXの導入効果

- 一元管理することで時間短縮、簡素化
- 管理データをクラウド保存することでいつでもどこでも見える
- 各種アプリ導入で集計が簡素化
- 休みの連絡をLINEは便利



全ては働く人が喜ぶか、便利になるか、楽しくなるかを最優先に考える。
経営者側が独断で考えてもうまく運用できない。毎月の個人面談で吸い
上げている

農業DXの導入

D(デジタル)を導入するだけでなく、
X(トランスフォーメーション)変革
がうまくできるか、簡素化されるか、
働く人が楽しく・楽になるかが重要



最後に

全ては働く人のためにをモットーに

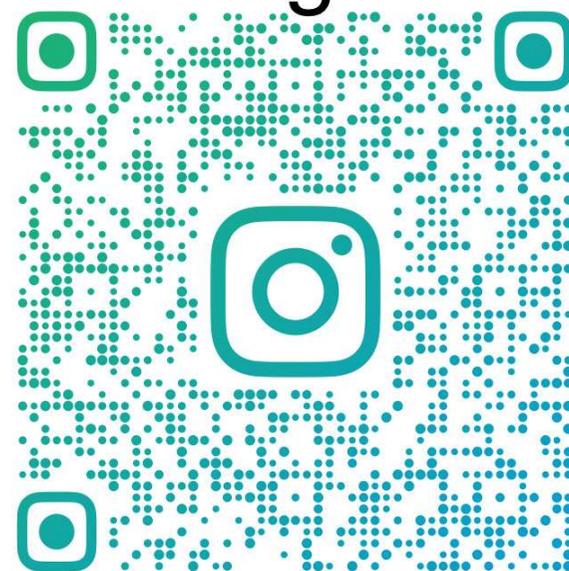
収量増加、生産性向上、費用対効果、コスト削減
とか全ては人が絡んで成り立つもの。



株式会社 Farmers Villa Ume

ご清聴ありがとうございました

Instagram



@FARMERSVILLAUME